

ノロ・ロタウイルス感染症

秋口から冬にかけてはノロウイルス感染症、冬から春にかけてはロタウイルス感染症が、まるでリレーするかのよう流行します。これらは感染性胃腸炎の代表で、いずれも腹痛、下痢、発熱などを引き起こしますが、異なる特徴を持つウイルスです。かかってしまったら、効果的な抗ウイルス薬がない為、予防がとても重要です！



ノロ・ロタウイルス感染症の流行危険度パターン



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ノロ	中	大	大	大	中							
ロタ				中	大	大	大	中				

その年により流行シーズンに若干のズレはありますが、ノロウイルスが初冬(11月~1月)、これと入れ替わるように早春(2月~4月)にロタウイルスが始まる事が多いようです。

潜伏期間

◇ノロウイルスの潜伏期間：24~48時間

◆ロタウイルスの潜伏期間：24~72時間

症状

◇ノロウイルス：主な症状は、吐気、嘔吐、下痢で発熱を伴う事もあります。嘔吐の回数は1日

10回以上となる場合もありますが、高齢者などを除き重症化する事は稀です。

◆ロタウイルス：主な症状は嘔吐、下痢、発熱で、熱は38度以上となる頻度が高いです。

激しい嘔吐、下痢による脱水で、入院となるケースも多くあります。

酸味の発酵臭がある白色水様便が特徴的で、便の色が診断基準のひとつになります。



感染経路

糞口(経口)感染、接触感染、飛沫感染により感染します。感染後の発症者や無症状病原体保有者との直接もしくは間接的接触による接触感染や、患者の嘔吐物や下痢便を介した、飛沫感染等のヒト~ヒト感染によるものが主です。便中に多くのウイルスが排出され、吐物の感染力も非常に強くなっています。

ケアポイントと予防方法

嘔吐がある場合は無理に食べさせず、水分を少しずつ与えましょう。電解質濃度の高いイオン飲料(経口補水液OS-1等)をとる事で脱水症を防ぐ事ができます。有効な抗ウイルス薬はない為、吐気止めや整腸剤を使った対症療法となります。

排泄物からの感染、接触感染、飛沫感染により感染するので、【1】①手洗い、②患者の隔離、③糞便・おむつ・吐物の適切な処理、【2】汚染された服や床などの塩素系薬剤による消毒が予防方法となります。